

洗顔後肌がつっぱる方へ

-肌の保湿力が低下しています-

洗顔後のつっぱり(乾燥)を改善することが、きれいな肌を保つためのポイントです。

本来肌は、洗顔後何もつけなくてもつっぱらないようにできています。肌の保湿力(自然治癒力)という、肌自身で潤いを保つ仕組みが備わっているからです。肌の保湿力は年齢と共に低下しますが、本来60代70代でも、つっぱりにくいようになっています。

ところが、クレンジング剤・洗顔剤や保湿液(乳液・クリーム・美容液・オイル・ジェルなど)を継続して使うと、肌の保湿力の低下が早くなり、10代20代でも、つっぱりを感じるようになります。

ここで問題なのが、つっぱるのが当たり前だと捉えていることです。さらに、洗顔後保湿液を使うとピタッと治まるため、今のケアで問題なしと捉えていることです。

しかし、つっぱる=肌の保湿力が低下しているということで、この状態を放置すると、敏感状態、アトピー、にきび、毛穴、くすみ、しみ、しわ、たるみなど、肌老化が加速していきます。

トラブルを改善したり、年齢を重ねてもきれいな素肌を保つためには、それぞれのトラブルに対する個別のケアを行うのではなく、肌の保湿力を高めるケアが大切です。

そのためには、商品の保湿力に頼らないケアが必要不可欠です。保湿液を使っている間は、一時的に症状を抑えることはできても、根本から改善することはできません。むしろ、肌の保湿力の低下が早くなり、肌老化が加速します。

肌の保湿力が高まると、徐々に洗顔後のつっぱりが解消され、自然にしっとりするようになっていきます。多少時間はかかりますが、海森水の効果的な使用方法を実践することで、肌自身の力で保湿できるようになっていきます。

●保湿剤入りの洗顔剤をお使いの方

保湿剤入りの洗顔剤を使用すると、洗い上がりはしっとりし、つっぱることはほとんどありません。しかし、これは商品の保湿力によって保湿されているということで、肌の保湿力が高まったわけではありません。使い続けていくと、保湿液同様肌の保湿力の低下が加速し、肌老化の原因となります。純石鹼への切り替えをおすすめします。

●メイクをされている方

メイクをされている方の場合、クレンジング剤や洗顔剤が必要となります。クレンジング剤や洗顔剤は、肌に必要な皮脂やセラミドを取り除くため(バリア破壊)、洗顔後のつっぱりを改善するのは難しくなります。この場合は、海森水1本で保湿できる肌を目指します。海森水のための保湿でしっとりする=肌の保湿力が高まっているということになり、トラブルの軽減、少しでも健康な素肌に近づくことができます。